

9月 定例会 一般会計 二十四億円余 可決閉会

衆議院選挙の最中、九月八日から開催された 議会が二十八日、全議案可決して閉会しました。今議会には補正予算、二十四億七千万円余が計上され、総額三百一十二億円余になりました。三位一体の改革で 削減され続けてきた 地方交付税が八億円余、率にして七%増額配分になりました。

主な事業は 木次・大東・吉田で実施されている「まちづくり交付金事業」に約4億5千万円、災害復旧費5億9千万円余。加茂町の特老施設「笑寿苑」20床増床工事に2億8千5百万円など。その他、国から全額支給される「住民基本台帳カード」の普及のための「地域通貨」と「避難者情報サービス」の実施に必要な6千万円が計上されました。

住基カードには「氏名・年齢・住所・性別」の4情報が組み込まれています。このカードでパスポートを申請する際の本人確認や転入転出手続きの簡素化等

に利用できます。このカードの、空き領域を使って、これから様々なサービスに活用していくとするとするものです。一人でも多くの方にこのカードを利用して頂きたいと思います。

私達のふるさと 雲南の語源は？

一般質問の中で「雲南」の語源・由来について 明らかにされていないが・・・という質問がありました。

合併協議会では一番なじみがあると言うことで「雲南市」が決定され、由来は「出雲の南で雲南」と言うことぐらいでした。答弁でも明確な答えはありませんでしたが 質問者の資料によると約180年前（江戸時代徳川家斉の頃）三刀屋町出身の横山祥介こと 後の有名人画家「黄仲祥」の生誕地三刀屋が出雲の南に位置することから「雲南」と号したことに発するとありました。その後、「三刀屋に雲南有り」と言われるようになりやがて 出雲の南に位置する3郡を総称して雲南と呼ばれるよ

うになった。という説です。皆さんどう思われますか。興味深い問題です。ご意見をお聞かせ下さい。



語源 と言われる
雲南 黄仲祥の 画

もののけ姫と たたら 製鉄

宮崎駿監督のアニメ「もののけ姫」は、一九九七年に制作され 空前の大ヒット作品となりました。この物語の舞台になったのが、雲南市吉田町を中心とした「たたら文化圏」です。

宮崎監督は二〇才の頃から「たたら製鉄」に強い関心を持ち「もののけ姫」は宮崎駿



山犬 モロに育てられた「もののけ姫 サン」

監督の集大成の作品とも言われています。

この物語は太古の原生林を舞台に、そこに住む神獣と増え続ける、人間の欲望との、せめぎ合いを「たたら」製鉄を象徴としてとらえ、人類と自然の共生を訴えています。

この中で「たたら」製鉄が自然を破壊しているように描かれています。実際には資源枯渇を補うために植林を行うなど、環境破壊はしておらず、宮崎監督が現代的環境破壊を意識した誇張表現だと言われています。

アニメが上映された当時吉田町「菅谷高殿」には若い女性を中心に多くの皆さんが「こだま」に導かれて押し掛けてきました。菅谷高殿は今でも、もののけ姫ファンが後を絶ちません。アシタカとサンに会いに来ませんか。こだまにも会えるかも。

雲南市誕生 一周年記念式典

十一月三日 三刀屋町アスパルにおいて開催されます。当日、「雲南市平和宣言」が行われます。「平和を！」

編集後記 いくつかの間にか食欲の秋 読書の秋 健康第一です。お互いに！